

市民活動がスキになる情報誌

WASSHOI!

わっしょい！市民活動 くるめ

vol.6

- 活動団体クローズUP -

ツインズクラブ

ツインズクラブ

【編集・発行】久留米市民活動サポートセンター さんくら

- 市民活動Information -

ふるさと納税で市民活動を応援！

久留米市市民活動応援
クラウドファンディング事業

Kurume Civic Activity Support Center

一人じゃないよ！^{たたいじ}多胎児育児中のお母さんの「道しるべ」



ツインズクラブ

100回のお産に1回と言われる双子の出産^{※1}。喜びと同時に、双子や三つ子を育てる日々は、身近に相談できる人がいないという孤立感と向き合うこともあります。

そんなママたちに20年以上寄り添い、温かな手を差し伸べているのが、久留米市で活動する「ツインズクラブ」です。

※1 双子を妊娠する確率は、一卵性双生児と二卵性双生児を合わせて約1%。
三つ子が生まれてくる確率は0.01～0.02%。(AHS Japanより)

活動のキッカケ

代表の村井さんご自身も多胎児を育てた経験者。久留米に多胎児の親の交流会がなく、福岡市まで足を運んでいた経験から、「多胎育児中のママを経験者がサポートするシステムを久留米で作りたい」という強い思いを抱き、長年にわたり市に提案し続けてきました。その熱意が実を結び、2017年には久留米市との協働事業「産前産後サポート事業」がスタート。この取り組みは、今や全国の先進事例として注目されています。

※2 産前産後サポート事業：久留米市では、多胎妊産婦の方を対象として、ピアサポーター（多胎児育児経験者）を自宅などに派遣しています。
(久留米市HPより)



村井 麻木 さん

多胎育児家庭に寄り添う

交流と情報共有

毎月開催される交流会は、先輩ママであるピアサポーターや保育士が温かく見守る安心の場所。段差のない会場を選ぶ、車から降りる瞬間に駆けつけて赤ちゃんを抱っこするなど、多胎育児経験者ならではの細やかな配慮があふれています。匿名で気軽に質問できるLINEオープンチャットには100名近くの登録があり、ママたちの不安を解消しています。



みんなと会えて
キラキラ笑顔

おいちゃんとおばあちゃんも参加！
みんなでお昼おいしいね



産前産後のサポート

「産前産後サポート事業」では、ピアサポーターが保健師さんと一緒に病院や自宅を訪問しています。この活動の最大の強みは、経験者だからこそ「ママの大変さに共感」できること。予防接種への同行や育児の裏技、地域で利用できるサービスなど、一人ひとりの状況に合わせた実践的なアドバイスを提供しています。小児科の看護師さんからも頼られる、確かな支援の仕組みです。



双子用ベビーカーは
ちょっと珍しい
縦型のものを愛用。



2025.8.20

今回もたくさん親子が参加してくれました！

活動の原動力

「参加してくれる人がいるから続けられる。出逢った人たちが財産」と語る村井さん。地道にコツコツと活動が続けてきた結果、今では赤ちゃんだった子どもたちが成長し、子どもスタッフとしてお手伝いに来てくれます。ママたちが元気になる姿や、「双子でよかった！」という子どもたちの言葉が、村井さんにとって何よりの喜びです。

ツインズクラブの今後

村井さんは、次の10年に向けた次世代育成にも力を入れています。次の世代のメンバーが無理なく活動が続けられるよう、常に、予算の確保や他の法人との連携なども視野に入れて活動を行っています。

村井さんの熱意と、ツインズクラブに集う人々の心温まる支え合いが、久留米の多胎児家庭にこれからも光を灯し続けます。

活動団体クローズUP



地域で活躍する団体の皆さんにインタビュー！活動の魅力や裏側のエピソードをお届けします

つながりを途絶えさせない挑戦

お母さんたちとの繋がりが途切れないよう、様々な工夫を凝らしてきました。コロナ禍のような困難な状況でもオンラインを活用して活動を継続。近年は、保健師さんとの密な連携で、緊急時にもスムーズに対応できる安心の体制を整えています。「関係者へ、ママたちの想いの発信が途絶えないように」という村井さんの言葉から、利用者を第一に考える優しさが伝わります。



2018.12

表彰式にて小川前福岡県知事と

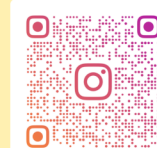
イベント
情報

ー 親子で楽しむ体幹ケア ー

日時：2025年11月23日（日）13時半～

場所：南部保健センター

講師：健康運動指導士 竹内亮子先生
(20才三つ子+中1弟のお母さんです！)



公式Instagram

☆ ツインズクラブ入会について ☆

入会金300円・年会費1000円

・クリスマス会などイベント時には別途実費が必要。

・定例会は基本的に無料。

わっしょい！
MEMO

先輩ママが支援者としてサポートする体制をイチから作り上げ、多数の賞も受賞されているツインズクラブさん。「団体と行政どちらもWin-Winの関係になれるように働きかけました」という村井さんの言葉が印象的でした。

令和7年度

ふるさと納税で市民活動を応援！

クラウドファンディング事業



Check!

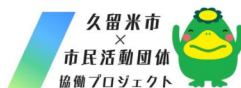


6つの市民活動団体が挑戦します！

ふるさと納税を活用した
クラウドファンディングとは？？

- ✔ 控除上限内額の2,000円を超える部分が
所得税や住民税の還付・控除となります
- ✔ 市外の方はもちろん市内在住の方も寄付が可能
(久留米市HPより)

詳細はこちら



【問い合わせ】久留米市協働推進部協働推進課
〒830-8520 久留米市城南町15番地3
TEL：0942-30-9064 FAX：0942-30-9706

開館時間 月～土 10:00～21:00 / 日・祝 10:00～19:00
休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

〒830-0031 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門 6階
☎：0942-30-9067 Fax：0942-30-9068
✉：info@kurume-kyodo.jp

編集・発行

久留米市市民活動サポートセンター みんなくる

指定管理者

久留米ガス株式会社・くるめ協働CASE PJ 共同体



みんなくるHP